



高知防災 プロジェクト

高知防災プロジェクトについて

【活動の背景】

2016(平成 28)年度より国や県の高知港海岸整備事業で、三重防護をコンセプトとした浦戸湾周辺の地震津波対策が進もうとしています。この計画では、防潮堤の嵩上げや液状化対策等により、①発生頻度の高い津波（レベル1津波※）が陸地に入って来るのを防ぐと共に、②最大クラスの津波（レベル2津波※）が発生した場合には避難時間を稼ぐことが考えられています。

しかしハード整備だけでは、住民が避難をする時間を稼ぐことはできても、最大クラスの津波による被害を最小限にとどめることはできません。住民が「逃げる」という意識を持ち続け、行動を取らなければ、巨大地震による津波から身を守ることはできないのです。

※レベル1津波：最大クラスに比べ発生頻度は高く（数十～百数十年に一度）、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波
※レベル2津波：発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波

【団体の設立目的】

私たち地域住民は、国や県による公共事業でハード整備が進捗するのを見守るだけで、安心してはいないでしょうか。浦戸湾周辺地域で居住し勤務する皆さまの防災ネットワークを強化することにより、防災意識を高め、避難行動能力を底上げすることが必要だと思えます。

そこで私たち有志は、「逃げ地図づくり」やその他の新しい手法を研究・実践・普及することにより、ハード整備と並行してソフト対策の拡充に努め、地域の総合的な防災力を高めることのお手伝いをするために、この団体を設立しようと考えました。

【メンバー構成】

この活動は、これまでまちづくり・防災・環境など、さまざまなNPO活動に携わってきた市民有志の呼びかけで始まりました。設立準備会を経て、2017年10月に任意団体として発足し、実際的な活動を開始したところです。上記の趣旨に賛同していただける方なら、居住地にかかわらずどなたでも参加できる取り組みとしたいと思います。

今後は行政とも連携し、三重防護の事業等に携わる企業の皆さまなどにも呼びかけ、社会貢献活動として浦戸湾周辺地域の防災活動に協力してもらえよう、働きかけていきたいと考えています。

2017(平成 29)年 10月

代表 山崎 一寛

代表 山崎 水紀夫

これまでの主な活動実績

1. 「逃げ地図」の紹介やワークショップの企画実施

① 「三里小津波防災勉強会」への参加

南海トラフ巨大地震による津波災害が予測される高知市三里地区の小学校で行われた特別授業の中で「逃げ地図」を紹介し、普段からのリスクコミュニケーションの重要性を説明しました。

日 時：2017(平成 29)年 9 月 25 日(月)、14:00~15:40

場 所：高知市立三里小学校体育館

参 加 者：三里小 4 年生 47 名 (2 クラス)、地域自主防災会関係者 7 名、高知市 2 名

内 容：・津波学習及び高知港湾空港事務所の取り組み紹介(国土交通省高知港湾空港事務所)
・ドローン飛行見学及び防災グッズ作成(国土交通省高知港湾空港事務所、(株)轟組)
・「逃げ地図」の紹介(高知防災プロジェクト)



② 「こうち防災フェスタ 2017」への出展

例年多くの来場者で賑わう「こうち防災フェスタ」(高知県建設業協会主催)のブースで、実際に地域住民の皆さんが参加した「逃げ地図」づくりワークショップを公開実施しました。

日 時：2017(平成 29)年 11 月 5 日(日)、10:00~16:00

場 所：こうち防災フェスタ会場でのブース出展(高知市立中央公園)

参 加 者：三里地域の皆さん 16 名(WS 参加)、見学者等約 90 名、高知県建築士会 2 名(WS 外)

内 容：・「逃げ地図」づくり公開ワークショップ
・「逃げ地図」紹介パネル展示
・高知防災プロジェクト紹介パネル展示



③「第9回みさとフェア」への参加

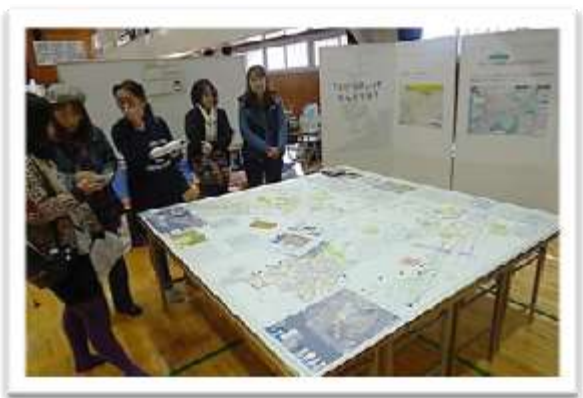
浦戸湾口近くに位置し津波災害が懸念される高知市三里地区、十津地区が毎年合同で開催する地域イベント「みさとフェア」に、地元のPTAや女性防災会に協力して参加し、地域住民の皆さんに「逃げ地図」を紹介しました。

日時：2017(平成29)年11月19日(日)、10:00~15:00

場所：三里中学校体育館（小学校PTA+女性防災クラブ 出展ブース）

参加者：見学者等約50名、PTA12名(スタッフ)

内容：・「逃げ地図」展示（「こうち防災フェスタ」でのWSで作成したもの）
・「逃げ地図」紹介パネル展示



④高知港海岸整備事業工事関係者向け津波防災研修の実施

－東亜・大本 JV 現場 BCP（津波防災ワークショップ）－

目下、急ピッチで進められている海岸整備事業の工事関係者は、いざという時には復旧復興の先頭に立つべき貴重な人材でもあります。そこで、海岸工事に携わる方々を対象とした津波避難を学ぶ研修プログラムを企画実施しました。

日 時：2018(平成 30)年 4 月 19 日(木)、13:00～17:00

場 所：高知新港輸入物流ターミナル（高知 FAZ） 2F 会議室

参 加 者：東亜・大本 JV 海岸整備事業工事関係者 33 名

→通常の作業、業務を止め、現場に携わるほぼ全スタッフが研修として参加

講師スタッフ：高知防災プロジェクト会員、高知県建築士会会員 ほか 14 名

内 容：・座学（津波防災に関する基本的知識、原則の学習）

・ワークショップ（「逃げ地図」づくり、現場からの避難シミュレーション）

・まち歩き（避難シミュレーションで想定した避難路、避難場所の現地確認）



⑤「防災フェスタ in 高知新港 2018」への参加

—東亜・大本 JV 地域防災支援事業（地域逃げ地図づくり）—

高知県総合防災訓練と同時開催の防災イベントに出展し、ブース内で公開模擬ワークショップを行って「逃げ地図」を紹介しました。

日 時：2018(平成 30)年 5 月 27 日(日)、10:00~15:00

場 所：「防災フェスタ in 高知新港 2018」会場（高知新港）でのブース出展

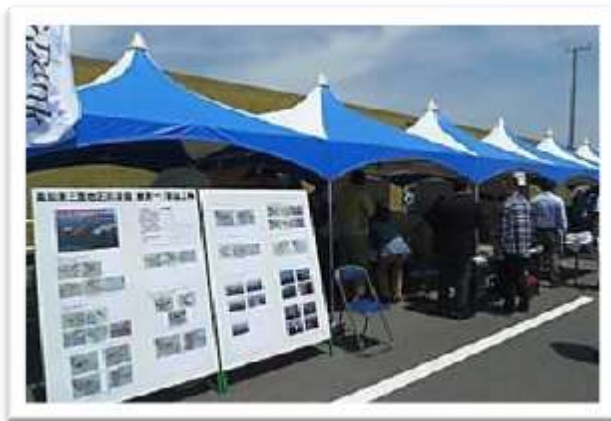
参 加 者：模擬 WS 参加者 …大学生（高知県立大、高知大） 計 10 名

見学者等 …防災関連機関関係者、地域防災団体関係者、一般県民 約 60 名

内 容：・「逃げ地図」づくり公開模擬ワークショップ

・「高知港三里地区防波堤(東第一)築造工事」の紹介（パネル展示）

・防災グッズ、パネル等の展示



⑥高知県立大学学生防災サークル「イケあい」での模擬ワークショップの実施

高知県立大学の学生防災サークル「イケあい」の研修会で「逃げ地図」を紹介し、メンバーによる模擬ワークショップを行いました。

日 時：2018(平成 30)年 10 月 20 日(土)、9:00~12:00

場 所：高知県立大学永国寺キャンパス

参加者：高知県立大学学生防災サークル「イケあい」の皆さん 17名

内 容：

- ・津波避難に関する基礎知識と高知市の津波災害予測の概要
- ・「逃げ地図」の考え方と進め方の説明
- ・「逃げ地図」づくり模擬ワークショップの実施



⑦「こうち防災フェスタ 2018」への出展

— 関西新洋米村(株) 高知港三里地区防波堤(南)築造工事(その1)における

地域防災支援事業(地域逃げ地図づくり) —

多くの来場者で賑わう「こうち防災フェスタ」(高知県建設業協会主催)で、実際に浦戸湾周辺地域の皆さんが参加した「逃げ地図」づくり公開ワークショップを実施しました。

また同時に関西新洋米村(株)様による、三重防護をコンセプトとした浦戸湾周辺の地震津波対策と、その一環として実施中の「高知港三里地区防波堤(南)築造工事(その1)」の概要を紹介するパネル展示を行いました。

日 時：2018(平成 30)年 11 月 4 日(日)、10:00~16:00

場 所：こうち防災フェスタ会場でのブース出展(高知市立中央公園)

参加者：高知市横堀地区住民の皆さん 4名

同タナスカ地区の事業所在勤者の皆さん 10名

見学者等約 90名

内 容：

- ・「逃げ地図」づくり公開ワークショップ

- ・「逃げ地図」紹介パネル展示

- ・高知防災プロジェクト紹介パネル展示

- ・防災グッズや防災関連書籍等の展示

- ・「高知港三里地区防波堤(南)築造工事(その1)」概要紹介パネル展示



⑧「第10回みさとフェア」への参加

浦戸湾口近くに位置し津波災害が懸念される高知市三里地区と十津地区が、毎年合同で開催する地域イベント「みさとフェア」に前回に続き参加し、地域住民の皆さんに「逃げ地図」や当プロジェクトの活動等を紹介しました。

日 時：2018(平成30)年11月18日(日)、10:00~15:00

場 所：高知市立十津小学校

参加者：見学者等 約60名(地域住民、行政・防災関係者 等)

内 容：
・「逃げ地図」展示(「こうち防災フェスタ」でのWSで作成したもの)
・「逃げ地図」紹介パネル展示
・高知防災プロジェクト紹介パネル展示

⑨地域の自主防災活動への支援

— 株轟組「高知港三里地区防波堤(東第一)工事(その2)」における

地域防災支援事業(地域逃げ地図づくり) —

高知市地域防災推進課を通じて地域からの要請を受け、津波浸水予測域の東端に位置する横堀地区(高知市介良乙)の防災会・自治会が行う「平成30年度横堀地区防災訓練」に協力し、「逃げ地図」づくりワークショップの企画実施や、三重防護をコンセプトとした浦戸湾周辺の地震津波対策及び実施中の「高知港三里地区防波堤(東第一)工事(その2)」の概要を紹介するパネル展示を行いました。

日時：2018(平成30)年11月25日(日)、10:00~12:30

場所：横堀公民館(高知市介良乙 横堀団地)

参加者：横堀地区住民の皆さん 約40名

- 内容：
- ・最寄りの津波避難場所と避難路を確認するウォーキング
 - ・南海トラフ地震対策啓発ドラマ「その日、その時」の鑑賞
 - ・「逃げ地図」づくりワークショップ
 - ・浦戸湾周辺の地震津波対策工事紹介パネルの展示



⑩「こうち防災フェスタ 2019」への出展

毎年、多くの来場者で賑わう「こうち防災フェスタ」(高知県建設業協会主催)に出展し、当団体や「逃げ地図」の紹介とともに、「防災ウルトラクイズ」を実施しました。

「防災ウルトラクイズ」は基礎知識編、地震津波編、豪雨災害編の3つのパートからなり、見学者がその場で正解と思う選択肢にシールを張る形式とし、多くのイベント来場者に気軽に参加してもらい、防災に関する知識を得てもらうことができました。

日 時：2019(令和元)年 11月3日(日)、10:00~16:00

場 所：こうち防災フェスタ会場でのブース出展(高知市立中央公園)

参 加 者：クイズ参加者・見学者等約 100名

内 容：・「逃げ地図」紹介パネル展示

- ・高知防災プロジェクト紹介パネル展示
- ・防災グッズや防災関連書籍等の展示
- ・「防災ウルトラクイズ」パネル展示及びステージでの解説



⑪「第11回みさとフェア」への参加

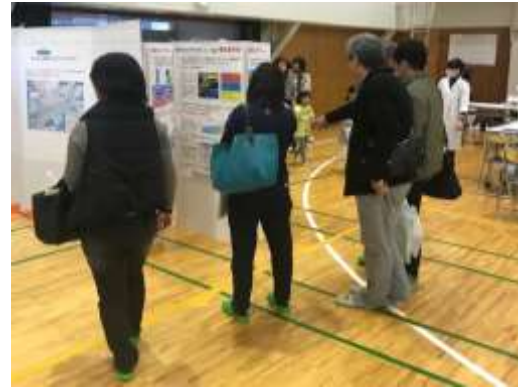
浦戸湾口近くに位置し津波災害が懸念される高知市三里地区と十津地区が、毎年合同で開催する地域イベント「みさとフェア」に前回、前々回に続き参加し、地域住民の皆さんに「逃げ地図」や当プロジェクトの活動等を紹介しました。

日 時：2019(令和元)年11月17日(日)、10:00~15:00

場 所：高知市立三里中小学校

参 加 者：見学者等 約50名(地域住民、行政・防災関係者 等)

内 容：
・「逃げ地図」紹介パネル展示
・高知防災プロジェクト紹介パネル展示
・「防災ウルトラクイズ」パネル展示



2. その他の地域の防災活動を支援する取り組み

①高知港海岸整備事業受注事業者による地域貢献活動への支援

—東亜・大本 JV 現場用非常持出袋の地域団体への寄贈—

高知港海岸整備事業受注事業者様より、現場 BCP の一環として備え付けていたスタッフ用非常持出袋を、担当工事の終了に伴い地域で活用してもらいたいとの相談があり、当プロジェクトが仲立ちして地元の地域防災団体への寄贈が実現しました。

同工事を所管した国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所にて贈呈式が行われ、同事務所関係者と当プロジェクトの立ち会いのもと、非常持出袋 25 個が「みさと女性防火クラブ」に手渡され、同クラブより事業者に対し感謝状が授与されました。

【贈呈式】

- 日 時：2018(平成 30)年8月1日(水)、18:30～
- 場 所：国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所
- 出 席：みさと女性防火クラブ（小笠原壽予子会長 ほか 5 名）
東亜建設工業株（岡禎之四国支店長 ほか 5 名）
- 次 第：1. 「非常持出袋」25 袋 目録贈呈（東亜建設工業株）
2. 感謝状授与（みさと女性防火クラブ）



みさと女性防火クラブと東亜建設工業株の皆さん



贈呈された非常持出袋とその中身

②高知港海岸整備事業受注事業者による地域貢献活動への支援

－関西新洋米村(株) 現場用AEDの地域団体への寄贈－

高知港海岸整備事業受注事業者様より、現場 BCP の一環として備え付けていたAED（自動体外式除細動器）を、担当工事の終了に伴い地域で活用してもらいたいとの申し出があり、当プロジェクトが仲立ちして地元の地域防災団体への寄贈が実現しました。

同工事を所管した国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所にて贈呈式が行われ、同事務所関係者と当プロジェクトの立ち会いのもと、AEDが「みさと女性防火クラブ」に手渡され、同クラブより事業者に対し感謝状が授与されました。

【贈呈式】

- 日 時：2019(平成 31)年 3 月 18 日(月)、18：30～19：00
場 所：国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所
出 席：みさと女性防火クラブ（小笠原壽予子会長 ほか3名）
 関西新洋米村(株)（小西啓太代表取締役 ほか5名）
次 第：1. AED（自動体外式除細動器）の贈呈（関西新洋米村(株)）
 2. 感謝状授与（みさと女性防火クラブ）



③高知港海岸整備事業受注事業者による地域貢献活動への支援

—東亜・大本特定建設工事共同企業体 現場用 AED 等の地域団体への寄贈—

高知港海岸整備事業受注事業者様より、現場 BCP の一環として備え付けていた AED（自動体外式除細動器）や非常持出袋を、担当工事の終了に伴い地域で活用してもらいたいとの申し出があり、当プロジェクトが仲立ちして地元の地域防災団体への寄贈が実現しました。

当プロジェクトの立ち会いのもと、AED と非常持出袋が「潮江婦人消防クラブ」に手渡され、同クラブより事業者に対し感謝状が授与されました。

【贈呈式】

日 時：2020(令和2)年3月12日(木)、13:30~14:00

場 所：大旺新洋(株) 会議室

出 席：潮江婦人消防クラブ（秋澤良子会長 ほか2名）

東亜・大本特定建設工事共同企業体（若松健一所長 ほか3名）

次 第：1. AED（1器）・非常持出袋（35袋）の贈呈（東亜・大本特定建設工事共同企業体）

2. 感謝状授与（潮江婦人消防クラブ）



④高知港海岸整備事業（三重防護）への理解を広げる取り組み

国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所と協力して、高知港海岸区域で進められている地震津波対策事業について学び視察研修を企画実施しています。座学と船上からの現場視察等による研修で、「三重防護」の考え方や、それに基づく対策事業の概要について学び、県民等が海岸整備事業や、「逃げる」意識を高める必要性に理解を深めていただく機会としています。

年度	月日	参加団体	内容
2019 (R1)	11月 30日	みさと女性防火クラブ + 潮江女性防火クラブ 合同防災研修 (19名)	<ul style="list-style-type: none"> 座学「高知港及び高知港海岸整備事業（三重防護）の概要について」 高知防災 Prj.の取組について 高知港見学（とさかぜ乗船） 非常食試食及び意見交換会
	12月 19日	高知商工会議所建設部会 ～高知港(浦戸湾)の三重防護 に係る視察研修～ (14名)	<ul style="list-style-type: none"> 座学「高知港及び高知港海岸整備事業（三重防護）の概要について」 高知防災 Prj.の取組について 高知港見学（とさかぜ乗船） 中工区海岸工事現場視察 客船ターミナル（新港岸壁）視察 質疑、意見交換

◆研修のようす（みさと女性防火クラブ+潮江女性防火クラブ合同研修）



3. 会の運営や研修活動等

(1) 会の運営に係る会議の開催

- ・2017(平成29)年8月より、有志が集まり6回の「設立準備会」を開催して準備を進め、同年10月に「高知防災プロジェクト」を設立し、本格的に活動を開始しました。
- ・設立後は正会員で構成する「運営会議」を開催し、会則に基づき会員の合議により運営を行っています。

①設立準備会

年度	回	月 日	参加者	主な協議事項等
2017 (H29)	1回	8月21日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の事業内容とスケジュール ・逃げ地図づくりWSの内容
	2回	8月25日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の組織体制について ・「こうち防災フェスタ」出展について ・三里小津波防災学習会への参加について
	3回	9月11日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・三里小津波防災学習会への参加について ・「逃げ地図づくり」模擬WS ・「こうち防災フェスタ」出展内容について
	4回	9月20日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的の明文化について ・三里小津波防災学習会への参加内容について
	5回	10月2日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・三里小津波防災学習会の結果報告 ・「こうち防災フェスタ」出展について
	6回	10月12日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の運営体制や設立趣意書等について ・「こうち防災フェスタ」出展について

②運営会議

年度	回	月 日	参加者	主な協議事項等
2017 (H29)	1回	10月20日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・高知税務署への事業開始届出について ・「こうち防災フェスタ」出展について ・高知県、高知市の関連部局へのアプローチについて
	2回	10月28日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・「こうち防災フェスタ」出展準備作業と当日の配置等について

	3回	12月26日	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・会則、組織体制について ・今後の活動について ・H29年中の活動報告
	4回	3月30日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・会則等の再確認 ・東亜大本JVにおける取り組みの検討
2018 (H30)	5回	5月20日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・会則の一部変更及び役員の選任等について ・2017年度活動報告・収支決算について ・2018年度活動計画・予算(案)について
	6回	7月3日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・東亜大本JVにかかる取り組み結果について ・今後の活動予定について ・その他(室崎先生視察への対応等)
	7回	9月29日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の異動について ・活動報告(ホラティア入、高知豪雨20年ツル等) ・今後の活動予定について
2019 (R1)	8回	5月13日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・2018(H30)年度活動報告・収支決算(案)について ・2019(R1)年度活動計画・予算(案)について ・その他(次回予定、会員の異動等)
	9回	6月8日	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・2018(H30)年度活動報告・収支決算について ・2019(R1)年度活動計画・予算(案)について
	10回	1月15日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動状況と今後の活動について ・団体の名称変更について ・その他(会員の異動、今後の予定等)

(2) その他の活動

①勉強会の開催(2018(平成30)年度)

- ・当プロジェクトの存在及び活動を県内外に広く知ってもらい、理解と協力を広げていくために、プロジェクトの中長期的な到達イメージや、現在までに行ってきた取り組みの意義を検討したり、今後行うべき取り組みのアイデア等を自由に意見交換する勉強会を行いました。

回	日時	参加 (名)	協議内容
1	8月9日(木) 17:00-19:00	7	勉強会の主旨、ねらい等について
2	8月28日(火) 17:00-19:00	11	当プロジェクト以外の活動目的、到達イメージについて
3	9月17日(月) 18:00-20:00	8	活動目的等を表すキャッチフレーズについて
4	10月16日(火) 18:00-20:00	8	今後の中長期的な活動の展開イメージについて

5	11月8日(木)	18:00-20:00	9	今後の中長期的な活動の展開メーヅについて
6	3月8日(金)	18:30-20:30	10	新たな取り組みアイデアと活動の発信について
7	3月29日(金)	18:30-20:30	10	今後の活動と行政との連携について

②勉強会の開催（2019(令和元)年度）

- ・近年の各地での豪雨災害の多発や、その際住民の自主的な避難行動が非常に低調である現状が顕在化しており、地震津波災害時の自主避難の徹底と相通じる課題ととらえ、河川の氾濫等の場合も含め住民の自主的な避難行動を喚起する方策等について、今後行うべき取り組みのアイデア等を自由に意見交換する勉強会を行っています。

回	日 時	参加(名)	協議内容
1	10月28日 17:00~19:00	9	国所管河川の今後の治水対策と課題について
2	11月18日 17:00~19:00	8	自主避難を促す取り組みのアイデアについて
3	12月6日 18:00~20:00	8	自主避難を促す地域のモデル事業案について

③防災をテーマとしたセミナー等への協力

- ・(一財)ダイバーシティ研究所が全国各地で開催する、事業者向け災害時対応セミナーの開催に協力し、高知会場でのセミナーに山崎水紀夫代表がパネラーとして登壇しました。

【セミナー「災害多発時代に求められる事業所の役割と備え」 概要】

日 時：2019(令和元)年 11月14日(木)、13:00~16:00

場 所：高知県立県民文化ホール 第6多目的ホール（定員80名）

主 催：一般財団法人ダイバーシティ研究所

後 援：高知県、高知市、高知商工会議所、内閣府政策統括官(防災担当)、総務省消防庁、(株)日本政策投資銀行、(株)日本経済研究所

次 第：1. 基調講演「災害多発時代に求められる事業所の役割と備え」

2. パネルディスカッション「災害時に事業所に求められる役割を果たすために」

事業者向け災害時対応セミナー【入場無料・先着10名】
災害多発時代に求められる事業所の役割と備え
全県5カ所で開催（札幌市・さいたま市・浜松市・名古屋市・高知市・熊本市）

繋がり合う、支え合う地域を作るために
あなたの会社ができること。
地域を支え、地域に愛され、
災害を乗り越えられる会社になるために。

セミナー講師
「災害多発時代に求められる事業所の役割と備え」
（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎
（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎

パネルディスカッション
「災害時に事業所に求められる役割を果たすために」
大規模災害時の事業者の対応事例、地域における事業者による取組事例、行政の災害時対応の取組を説明し、事業継続と地域での災害時対応の連携性を明らかにし、事業者の取組の進め方について議論を進めます。

開催情報・各会場13:00~16:00（受付：12:45~）
高知市 10月16日(木) アクトシティ高知 620号棟2階
名古屋市 10月17日(金) ウィンクあいち 2階 503会議室
高知市 11月14日(木) 高知県立県民文化ホール第6多目的ホール
熊本市 11月21日(木) 熊本県民会館 アートロフト

お問い合わせ：（一財）ダイバーシティ研究所
お問い合わせURL: <http://diversity.jp/>
Tel: 06-6192-5175 E-mail: office@diversity.jp

大規模災害時の事業者の対応事例、地域での取組事例を学ぶ
地域を支え、地域に愛され、
災害を乗り越えられる会社になろう！

11月14日(木)高知会場 事業者向け災害時対応セミナー
日時：2019年11月14日(木) 13:00~16:00(受付:12:45~)

会場：高知市立県民文化ホール 第6多目的ホール
住所：高知市東山町1-1-1
主催：(一財)ダイバーシティ研究所
後援：高知県、高知市、高知商工会議所、内閣府政策統括官(防災担当)、総務省消防庁、(株)日本政策投資銀行、(株)日本経済研究所
講師：田村太郎(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事、田村太郎(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事

【プログラム】
基調講演：「災害多発時代に求められる事業所の役割と備え」
（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎

パネルディスカッション：「災害時に事業所に求められる役割を果たすために」
田村太郎(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事、田村太郎(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事
コーディネーター：高知市立県民文化ホール 企画 山崎水紀夫
協賛：高知市、高知商工会議所、内閣府政策統括官(防災担当)、総務省消防庁、(株)日本政策投資銀行、(株)日本経済研究所

【お申し込みフォーム】

お名前	
ご所属(組織名)	
連絡先(TEL)	
メールアドレス	
ご所属部署	

送信先 一般財団法人ダイバーシティ研究所
office@diversity.jp
06-6195-8812

<参 考>逃げ地図について

逃げ地図ってなんだろう？

みんなで一緒に地図づくり

逃げ地図ワークショップでは、地域の人みんなで集まって防災のための地図づくりを行います。

小学生から高齢者までが一様に作業することで、地域間でのコミュニケーションを円滑にし、地域全体での防災意識を高めます。



気になることは共有

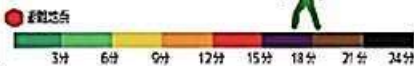
「あの道は雨が強くなると歩けなくなる」「万が一の時は私の庭を渡って構わない」など、作業しながら思い浮かんだことは付箋に書いて共有します。

また幾つかの避難場所を想定するなど複数の状況に対する逃げ地図を作り、発表会にて意見交換を行います。



避難地点までの時間を色で理解

逃げ地図の特徴は、目標避難地点までの時間を色で表すところにあります。道路が色塗りされることで、直感的に危険な場所を理解することができます。



出典：逃げ地図ワークショップ2016年度紹介パンフレット
逃げ地図づくりプロジェクトチーム編

「逃げ地図」って こういうもの

- 地図に色をぬって、**みんなで**つくります。
- 地図ができあがると、その場所から
ひなん
何分で避難できるかわかります。
- 避難に**時間がかかる場所**や、
ひなんろ
避難路の回りのようすがわかります。
- 作りながら、災害や避難について、
さいがい ひなん
みんなと話し合いができます。



作成した逃げ地図の例（高知市三里地区）

【連絡先】 高知防災プロジェクト事務局

（特定非営利活動法人 環境の杜こうち 内）
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
こうち男女共同参画センター（ソーレ）3階
TEL：088-802-2201 FAX：088-802-2205
E mail: ishikawa@npo-kankyonomori.com